

大学の世界展開力強化事業（ロシア）採択校連絡会 情報共有シート

1. 基本情報

構想名	ライフケア分野における日露ブリッジ人材育成—主に極東地域の経済発展を目的として—
大学名	東海大学
担当部署	国際教育センター事務室
コンタクト先	tokai.russia@ml.u-tokai.ac.jp

※コンタクト先は、本情報共有シート等において記載された内容等に係る情報交換・問い合わせ等のため、採択大学間で連絡を取り合う際のコンタクト先（メール、TEL等）を記載ください。

2. プロジェクト概要

貴学が取り組まれているプロジェクトの概要についてご記入ください。

<p>ライフケア関連分野を専攻、あるいは関心のある学生に専門知識を身につけさせ、日露のみならず、世界で展開する企業等で活躍できる即戦力の人材の育成を目指す。具体的には、日露の学生双方に興味を喚起させるための準備プログラムとしての短期海外研修（2～4週間／双方向）、セメスター単位で専門科目を学ぶ中長期交換留学（6/12ヵ月／双方向：単位取得型）、ロシアでニーズの高まっている画像診断・超音波診断機器等の技術習得を目指す実務研修と本学医学部生の海外臨床研修として派遣を行なう健診人材実務者研修（2～6週間／双方向）、最終的にはダブルディグリープログラム（修士課程を対象、平成32年実施開始）まで、プログラムを発展させる。</p>
---

3. プロジェクトへの取組状況

下記5点を中心に貴学の取組状況をご記入ください。

ロシア側大学との調整・連携上の課題及び工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学創立者が設立した民間交流団体「日本対外文化協会」と連携した調整を展開している。</li> <li>・ 近年、ロシア人教員、ロシア留学経験者・専門知識を有する教員採用を強化し、複数チャンネルによる調整、交渉を行うよう心がけている。</li> </ul>
教育システム上の取り組み（学年歴、カリキュラム、学位認定、単位互換、単位認定、成績評価等、教育の質の保証に関する留意点、調整・取組状況）	将来的に体系的な単位互換が実施できるように、本学と連携大学の科目対応リストを作成し、成績評価基準の統一を図る。連携大学と協働で共同プログラム委員会を設置し、履修プログラム内容の適否を検討して、共通の成績評価基準の下で厳格な成績管理が行えるよう準備を進めている。
プログラムの実施における特筆すべき成果	今年度採択されたばかりであり、特筆すべき成果は生んでいない。ただし、本事業は、日露健康寿命の伸長、日本型ライフケアの輸出、極東地域における投資拡大をもってプログラム・アウトカムとしている。その達成に向けて、極東地域に事業展開する民間企業との連携を積極的に展開している。
危機管理への対策	設置準備中の極東オフィス（極東連邦大学内）が、同窓会支部と連携し、ロシア国内における危機管理を主として担当する。受入留学生を対象に、留学が安心安全に成就するよう本学教員を派遣し、海外危機管理研修を実施し、日本滞在中は海外旅行保険への加入を義務化している。派遣留学生及び本学教職員の海外滞在中における危機管理は、民間危機管理会社の留学生海外安全危機管理サービスを提供し、大手旅行代理店との包括協定によりロシア国内の各支店が有事・緊急時の支援を行うことで、365日24時間体制でサポートを受けられる体制をとっている。派遣留学生には、留学前に民間危機管理会社による危機管理セミナーへの参加を義務付けている。
補助金終了後を見据えた今後の展望・方向性	本事業のプログラムモデルをベースに、日露経済協力の8項目の他分野（都市開発、エネルギー開発、酪農業、水産加工等）へ人材育成プログラムを拡大していく。又、特に本学の卒業生が多いカザフスタン等の中央アジア諸国、更に他のCIS諸国へと発展的に拡大していき、海外研修から、単位取得型の中期・長期留学、そして複数学位取得型プログラムへの参加者を段階的に増加させる予定。

4. プラットフォーム構築事業への要望等

本事業を推進するにあたり、ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

--